

# 〈教育の指針〉 平成 23 年度 安宅中学校の教育はこのように進めます

小松市立安宅中学校  
校長 坂谷 敦子

教育目標 「 自分を見つめ、目標に向かって努力する心豊かな生徒の育成 」

めざす生徒像

智・・・広い視野で自ら学ぶ生徒  
仁・・・心豊かで、思いやりのある生徒  
勇・・・自分で考え、正しく判断し、実行できる生徒

学校研究主題

平成 23・24 年度 小松市学力向上研究推進校

義務教育 9 か年の学びの中で培う確かな学力  
～小中連携で取り組む学力向上プロジェクト～

## ◆ 確かな学力を身につけるために

- 1 基礎基本の習得・定着を徹底させます**
  - ☆ 授業規律や学びのルールを大切し、授業への集中と学習効果を図ります。
  - ☆ 小テスト、ドリル演習、朝学習等で基礎的・基本的事項を繰り返し指導します。
  - ☆ 数学科で、TT・少人数授業を実施し、習熟の程度に応じたきめ細かな授業を行います。
  - ☆ 家庭学習における学年別目標時間を設定し、家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化と内容の充実を目指します。
- 2 「いしかわ学びの指針 12 か条」を拠りどころとして、石川の子ども達に求められている『活用力』の育成に努めます。**
  - ☆ 物事を多様な観点から考察する力を培うために、発達段階に応じて「活用力」の積み上げを意識し、言語活動を充実させます。
  - ☆ 生徒・保護者にシラバスを配布して教科学習のねらいや評価の観点を共有し、生徒の主体性を生かした授業づくりに努めます。
  - ☆ 研究授業や校内研修会等を通して、教員の指導力や資質向上に努めます。
- 3 国・県・市が実施する学力調査や学習状況調査等の結果分析を充分に行い、実態の把握・課題克服への努力をします。**
  - ☆ 結果分析を授業改善につなげていきます。
  - ☆ 安宅小学校との情報交換、実効的な連携を深め、学力向上プロジェクトを推進します。

## ◆ 学びを支える基盤づくりのために

- 1 考える場面・話し合い活動・学び合い活動ができる学級づくり・学年づくりを目指します。**
  - ☆ 互いに聞き合い、話し合い、考えたことや分かったことを安心して表現できる学級づくりをします。
  - ☆ 思いやりの心や豊かな情操を育むために、読書活動や道徳教育の充実に努めます。
  - ☆ 積極的な生徒理解・生徒支援を心がけます。
- 2 基本的な生活習慣の確立に努めます。**
  - ☆ 挨拶や礼儀、社会のルール、マナーを守ることの意義と大切さを伝えていきます。
  - ☆ 疾病の早期治療、健康や体力の保持増進を図り、適正な自己管理ができるよう指導します。
- 3 特別活動の充実を通して、学校としての活力を高めます。**
  - ☆ 一人ひとりが自己の役割と責任を果たし、充実感や達成感を味わうことができる学校行事の計画を心がけます。
  - ☆ リーダー会や生徒会活動の活発化を図り、生徒の自己有用感を高めていきます。
  - ☆ ボランティア活動に積極的に取り組みます
- 4 積極的な学校公開に努め、家庭・地域から信頼される学校づくりを目指します。**
  - ☆ 学校評価結果を学校改善に活かしていきます。
  - ☆ 学校と家庭・地域が連携して、子どもの学びを支援する取り組みを積極的に推進します。